

令和3年度 生活単元学習 単元計画表

学部	学年（担当者）	期間（時数）	単元名				
単元の概要	①メンバー構成（男女比や重複児童生徒数など） ②単元にかかわる集団の特徴 ③本単元にかかわる集団の課題点や付けたい力 ④単元の概要		箇条書きで要点が分かるようにする。 ①は年度当初のみでよい。 前単元からのつながりを考慮する。				
			生活単元学習の意義や留意点について、毎単元チェックし、意識して取り組むようにする。				
単元の特徴や留意点 Check（一部省略）	(7) 実際の生活から発展し、児童生徒の知的障害の状態や生活年齢等及び興味・関心を踏まえ、個人差の大きい集団に適合するもの。						
	(4) 必要な三つの柱（知・技 思・判・表 主）の育成を図るものであり、生活上の望ましい態度や習慣が形成され、身に付けた内容が現在や将来の生活に生かされるようなもの。						
	(7) 指導目標への意識や期待をもち、見通しをもって意欲的に取り組むものであり、目標意識や課題意識、課題の解決への意欲等を育む活動を含んだもの。						
	(エ) 一人一人が力を発揮し、主体的に取り組むとともに、様々な役割を担い、集団全体で単元の活動に協働して取り組めるもの。						
	(オ) 指導目標を達成するための課題の解決に必要なかつ十分な活動で組織され、自然な生活としてまとまりがあるもの。						
	(カ) 各教科等に係る見方・考え方を生かしたり働かせたりできる内容を含んでいるもの。 (いろいろな単元を通して、多種多様な意義のある活動が経験できているようにしている)						
単元の目標							
評価規準	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】				
	・評価規準は、目標に対して、本単元で何がどこまでできるとよいかの到達点を表す「～している」 ※本来は別々に記載する必要があるが、本校では単元の目標と評価規準を単元の目標として合わせて記す。語尾は「～している」						
教科等	学習指導要領の目標・内容一覧表より、教科→段階→内容の記号の順で記載。 「県作成のエクセルデータ」を使用。						
	自立活動内容は個に応じる						
単元計画	月日	曜日	活動内容	評価計画			
				知	思	主	
	/						
	/						
	/						
	/						
	/						
	/						
	/						
	/						
	/						
	/						
	/						
			同じ活動が続く場合は、まとめて記し、一枚に収めるようにする。				
				どの活動で評価規準の3観点の内の何を評価するか○を付ける。特に重きを置く観点は◎で記す。			

【単元全体を通しての振り返り】

(1) 主体的に活動できる授業づくりのための改善点
＜単元の目標（評価規準）について＞

＜単元全体・活動内容について＞

＜場の設定、教材・教具、補助具、教師の支援等について＞

(2) 次単元もしくは次年度への引き継ぎ等

--